



熊本市 感染症発生動向調査 速報

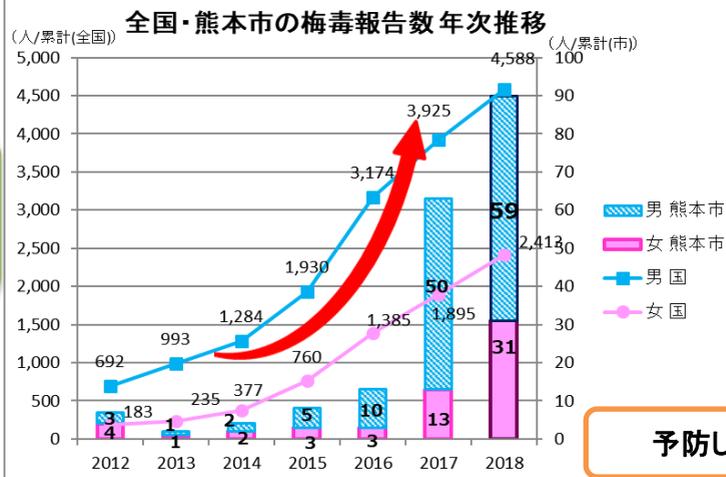
全国では2013年以降、熊本市でも昨年から急増中!!
男性では20~50歳代、女性は20歳代が多く報告されています。

早期発見・早期治療が大切!! 熊本市保健所ではHIV検査と一緒に梅毒の検査も受けられます。詳しくはホームページをご覧ください。

性行為(口や性器)で感染、キスでうつることもあります。予防にはコンドームが有効です。不特定多数との接触をさげましょう。

無症状だったり、放っておいても症状が軽快することもあります。病気は進行していきます。症状があるときは早めに、皮膚科、泌尿器科、性病科、婦人科などを受診してください。

妊婦の感染は流産や死産、赤ちゃんの先天性梅毒の原因になることもあります。また、HIV、クラミジア、淋病など、他の感染症にも感染しやすくなります。



熊本市保健所 HIV検査相談ホームページ

予防してね

熊本市 梅毒発生数 過去8年間 2019年3月31日現在

	平成23年 2011年	平成24年 2012年	平成25年 2013年	平成26年 2014年	平成27年 2015年	平成28年 2016年	平成29年 2017年	平成30年 2018年	平成31年 2019年 3月31日現在
熊本市	10	7	2	4	8	14	63	90	23
熊本県	12	13	7	7	11	16	79	113	27
全国	827	875	1228	1661	2690	4575	5826	7001	1498



期 間		2019年 12週		2019年 13週	
		3/18~3/24		3/25~3/31 (最新)	
疾患名 <small>(百日咳は平成30年1月1日より全数報告へ変更になりました)</small>	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	↓	53	2.12	19	0.76
RSウイルス感染症	↓	10	0.63	12	0.75
咽頭結膜熱(プール熱)	↑	2	0.13	6	0.38
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓	30	1.88	19	1.19
感染性胃腸炎	↓	72	4.50	80	5.00
水痘(みずぼうそう)	↑	1	0.06	7	0.44
手足口病	↓	34	2.13	24	1.50
伝染性紅斑(りんご病)	↓	1	0.06	4	0.25
突発性発しん	→	10	0.63	9	0.56
ヘルパンギーナ	→	0	0.00	0	0.00
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	0	0.00	0	0.00
急性出血性結膜炎	→	1	0.20	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	↓	29	5.80	16	3.20
細菌性髄膜炎	→	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	→	1	0.20	0	0.00
マイコプラズマ肺炎	→	1	0.20	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	→	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	→	10	2.00	10	2.00